

(具体的対応方針 構想区域総括表)

気仙構想区域

構成団体 (大船渡市、陸前高田市、住田町)

総面積 (km ²)	889.29	基準病床数 (床) (a)	389	2025 (R7) 必要病床数 (床) (b)	370
------------------------	--------	---------------	-----	-------------------------	-----

(1) 人口

	2015.10.1現在 (c)	2020年推計人口 (d)	2025年推計人口 (d)
圏域総人口	63,536	58,865	54,139
75歳以上人口	12,396	12,932	13,556
75歳以上比率 (%)	19.5	22.0	25.0

受療動向 (患者住所地) (e)	
圏域内	59.8
盛岡	17.8
岩手中部	3.7
胆江	1.3
両磐	1.0
釜石	3.4
宮古	0.3
県外	12.5

(2) 医療機関、介護施設の状況

総病院数	3	(f)
診療所施設数	43	
地域包括ケア病床数	43	
在宅療養支援診療所	3	(g)
在宅療養支援病院等	2	
訪問診療施設数	10	
訪問診療実施件数	158	(h)
在宅看取り施設数	—	
在宅看取り実施件数	—	
医師の総数	125.8	(i)
歯科医師の総数	33.2	
看護師の総数	458.6	
薬剤師数	19.6	
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の総数	24.4	
10万人当たりの医師の総数	231.4	(j)
10万人当たりの歯科医師の総数	61.1	
10万人当たりの看護師の総数	843.7	
10万人当たりのリハの総数	44.9	
1人当たりの医療費 (円)	567,194	(k)
1人当たりの介護費 (円)	303,746	(l)

(3) 療養病床の状況 (m)

病院名	病床数
希望ヶ丘病院	60

(4) 介護施設等の状況 (n)

種類	定員
介護療養型医療施設	0
介護老人保健施設	342
介護老人福祉施設	475
グループホーム	126
特定施設 (軽費老人ホーム等)	50
サ高住 (非特定)	0

備考 (R7.10.1現在)
 【回復期リハビリテーション病棟入院料届出病院】なし
 【緩和ケア病棟入院料届出病院】なし

稼働病床ベース

構想区域	機能区分	具体的対応方針 (稼働病床)							2025 (R7) 時点稼働病床 B	2025 (R7) 必要病床数 C	差引 B-C	構想区域の概況
		2025 (R7) 時点稼働病床数 (Bの内訳)										
		2025 (R7) 時点稼働病床 A	県立大船渡病院	県立高田病院	希望ヶ丘病院	住田地域診療センター	地ノ森クリニック	松原クリニック				
気仙	高度急性期	20	20						20	44	▲ 24	過剰となる機能急性期
	急性期	230	230						230	164	66	
	回復期	60		60					60	93	▲ 33	
	慢性期	98			60		19	19	98	69	29	不足する機能
	休床等	19				19			19	—	19	
	合計	427	250	60	60	19	19	19	427	370	57	

出典

基準病床数	(a)	岩手県保健医療計画(2024-2029)	医師の総数	(i)	R5医療施設静態調査 第35表、第36表、第37表	
R7必要病床数	(b)	岩手県地域医療構想	看護師の総数			
2015.10.1現在人口	(c)	岩手県人口移動報告年報	薬剤師数			
推計人口	(d)	都道府県別将来推計人口 (H30.3推計) 国立社会保障・人口問題研究所	PT・OT・STの総数	(j)	R5医療施設静態調査 R5岩手県毎月人口推計 (年報) (R5.10.1現在)	
受療動向	(e)	保健医療計画(2024-2029) 図表2-4-5	10万人当たりの医師の総数			
総病院数	(f)	R5医療施設静態調査 第1表、第2表	10万人当たりの看護師の総数			
診療所施設数			10万人当たりのリハの総数			
地域包括ケア 病床数	(g)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R7.10.1現在)	1人当たりの医療費 (円)	(k)	R4年度厚生労働省 医療費の地域差分分析	
在宅療養支援診療所			1人当たりの介護費 (円)	(l)		R5年度介護保険事業状況報告
在宅療養支援病院			療養病床の状況	(m)		
訪問診療施設数	(h)	R5医療施設静態調査 第22表、第23表	介護保険施設の状況	(n)	介護サービス情報公開システム (R7.10.1時点)	
訪問診療実施件数						
在宅看取り施設数						
在宅看取り実施件数						

具体的対応方針(県立大船渡病院の役割と機能)

所在地： 大船渡市大船渡町字山馬越10-1

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	280		105	10	4	399
	稼働	250		105		4	359
	非稼働	30		0	10	0	40

1日平均入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	204.5		20.4		0	224.9
	R5	198.4		19.8		0.7	218.9
	R4	202.9		23.3		3.1	229.3

病床利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	76.3		19.5		0	59.7
	R5	68.5		18.9		17.1	53.8
	R4	70.2		22.2		76.6	56.2

平均在院日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	12.5		123.5			13.7
	R5	11.9		135.8		8.1	13.4
	R4	12.4		174.3		7.2	13.8

病床機能(稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7報告	20	230				250
	R7見込	20	230				250

診療科目	内科、精神科、児童精神科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、形成外科、救急科
------	---

病院の役割・特色

- ・圏域の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担い、三次救急医療、がん治療、周産期医療等の高度・専門医療を担っている。
- ・地域がん診療病院として、身近ながん医療を提供している。
- ・地域周産期母子医療センターとして、周産期にかかる比較的高度な医療を提供している。
- ・救命救急センターとして、圏域内を中心に救急患者を年間11,500人程度（うち救急車搬送3,100人程度）受け入れている。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣や被災地内の重症傷病者の受入を実施している。
- ・臨床研修指定病院として、臨床研修医・専攻医を受入れている。
- ・感染症指定医療機関として、気仙圏域及び釜石圏域の感染患者の入院治療を担っている。

今後の方向性

- ・地域で必要となる診療科の常勤医師を確保し、必要な医療を提供
- ・医師が不足する地域への診療応援など、地域医療支援を強化
- ・臨床研修病院及び専門研修における連携施設として、研修医及び専攻医を受入れ
- ・がん医療圏（盛岡・気仙・釜石・宮古）における拠点となる病院と連携し、身近ながん医療を提供
- ・脳卒中医療圏（気仙・釜石）において専門的な脳卒中医療を提供
- ・心血管疾患医療圏（気仙・釜石）において専門的な心血管疾患医療を提供
- ・精神科救急の協力病院として、救急治療終了後の患者の受入れに協力
- ・医療、福祉、行政、支援事業者等と連携しながら精神科の長期入院患者の地域移行を推進
- ・精神科において、一般病院との連携体制を強化
- ・周産期医療圏（気仙・釜石）における地域周産期母子医療センターとして、周産期に係る比較的高度な医療を提供
- ・小児地域医療センターとして、小児専門医療を提供
- ・救命救急センターを設置し、三次救急医療を提供
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重篤救急患者の受入れを実施
- ・第二種感染症指定医療機関、流行初期医療確保措置協定締結医療機関として、新興感染症に係る入院医療等を提供

具体的対応方針(県立高田病院の役割と機能)

所在地： 陸前高田市高田町字太田512番地2

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	60					60
	稼働	60					60
	非稼働	0					0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	33.6					33.6
	R5	29.7					29.7
	R4	22.3					22.3

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	56.0					56.0
	R5	49.5					49.5
	R4	37.2					37.2

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	24.2					24.2
	R5	24.7					24.7
	R4	23.2					23.2

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7報告			60			60
	R7見込			60			60

診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、リハビリテーション科
------	--

病院の役割・特色

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である大船渡病院と連携しながら高齢者を中心とした入院医療等を提供。
- ・地域包括ケア病床を稼働し、急性期医療後の回復期患者等を受け入れ。
- ・在宅医療として、訪問診療、訪問看護を実施。
- ・初期臨床研修協力病院及び専門医制度における連携施設（関連施設）として、研修医、専攻医を受け入れ。
- ・陸前高田市内各地域で健康講演会を行い地域住民に密着した活動を展開。

今後の方向性

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である大船渡病院と連携しながら地域の入院機能を担う。
- ・回復期機能を中心とした病床機能を担う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。

具体的対応方針(希望ヶ丘病院の役割と機能)

所在地: 陸前高田市高田町字大隈8番地6

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可		60	93			153
	稼働		60	93			153
	非稼働						0

1日平均入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6		56.8	89.6			146.4
	R5		58.1	90.3			148.4
	R4		57.5	90.9			148.4

病床利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6		94.7	96.3			95.7
	R5		96.9	97.1			97
	R4		95.8	97.8			96.8

平均在院日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6		238.5	806			522.3
	R5		277.3	724.2			500.8
	R4		326.2	699.6			512.9

病床機能(稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7報告				60		60
	R7見込						0

診療科目	精神科・老年精神科・神経内科・内科
------	-------------------

病院の役割・特色

- ・当院は、精神科病棟・精神療養病棟と気仙圏域で唯一の慢性期療養病棟を有し、患者の様態に応じた医療を提供するとともに、終末期にはターミナルケアを取り入れております。
- ・精神科では、統合失調症、うつ病、パニック障害、強迫性障害、認知症など、多様な疾患に対応する専門的な治療を行っています。
- ・気仙地域認知症疾患医療センター（連携型）（R3年度指定）
今年度より、認知症認定看護師を配置しております。
- ・療養病棟においては、圏域唯一の慢性期機能を担っている。

今後の方向性

- ・精神科病院として、保健・医療・福祉・行政等の関係機関との連携により、障がい児・者の相談支援や地域移行・地域支援を提供
- ・圏域唯一の慢性期機能を担う
- ・保健医療計画に基づき、地域で求められている精神疾患、認知症を中心とした医療機能を担う
- ・主として長期的な治療・療養が必要な精神障害者の方が入院される病棟（精神科療養病棟）の提供

具体的対応方針 (県立大船渡病院附属住田地域診療センターの役割と機能)

所在地: 気仙郡住田町世田米字大崎22-1

1 診療科目

診療科目	内科、外科
------	-------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
	R7報告					19	19
	R7見込					19	19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

--

具体的対応方針(地ノ森クリニックの役割と機能)

所在地:大船渡市大船渡町字山馬越188

1 診療科目

診療科目	泌尿器科・内科・外科・透析科
------	----------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R7報告				19		19
	R7見込				19		19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

- ・外来診療としては、夜間透析を行う等、透析に力を入れている。透析専門医が常勤しており、45台の透析装置を備え、県立大船渡病院と連携し透析患者を受け入れている。在宅透析患者の通院送迎も行っている。
- ・透析診療に関連し、泌尿器専門医や血管外科専門医による専門外来を行っており、今後は、地域の健康診断等の保健医療にも力を入れていく。
- ・県立大船渡病院で血管外科外来がなくなったことから、血管外科専門医による下肢静脈瘤の診察や処置対応を行っていく。
- ・19床の入院患者は、高齢等で自宅から通院できない患者を受け入れている。
- ・今後、地域の在宅医療の需要を鑑みて、訪問診療を検討している。

具体的対応方針(松原クリニックの役割と機能)

所在地:陸前高田市高田町字中田69-2

1 診療科目

診療科目	内科・人工透析内科
------	-----------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R7報告					19	
R7見込					19		19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・主な外来は透析で透析装置は32台を備えており、県立大船渡病院と連携し患者を受け入れている。
・19床の入院患者は、県立大船渡病院、高田病院から紹介された終末期患者等を受け入れている。
・陸前高田市は、仕事帰りや学校帰りで受診可能な医療機関が少ないことから夕方診療を行っている。
・今後、緩和ケアを行う施設が沿岸部に少ないので、地域完結型の医療を目指し県立大船渡病院と連携しホスピス事業が展開できないか検討している。